

平成 28 年 5 月 16 日



各 位

株 式 会 社 U B I C  
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏  
(コード番号：2158 東証マザーズ)  
(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)  
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 谷 口 正 巳  
電 話 番 号 03-5463-6344

平成28年 3 月期通期予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成28年 2 月15日に公表いたしました平成28年度 3 月期通期連結業績予想の修正数値と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。また個別業績における前回発表予想数値と実績値の差異についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成28年 3 月期通期連結業績予想と実績の差異 (平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日)

|                              | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純損失<br>(△) | 1 株当たり<br>当期純損失<br>(△) |
|------------------------------|--------|-------|-------|--------------------------------|------------------------|
|                              | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円                            | 円 銭                    |
| 前回発表予想 (A)                   | 10,500 | 240   | 230   | △50                            | △0.14                  |
| 実績値 (B)                      | 10,659 | 180   | 123   | △121                           | △3.40                  |
| 増減額(B-A)                     | 159    | △60   | △107  | △71                            | —                      |
| 増減率 (%)                      | 1.5    | △25.0 | △46.5 | —                              | —                      |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 27 年 3 月期) | 6,274  | 266   | 434   | 260                            | 7.45                   |

2. 平成28年3月期通期個別業績予想と実績の差異（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

|                          | 売上高   | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|-------|----------------|
|                          | 百万円   | 百万円  | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)               | 4,100 | 100  | 70    | 2.00           |
| 実績値 (B)                  | 4,565 | 169  | 60    | 1.70           |
| 増減額(B-A)                 | 465   | 69   | △10   | －              |
| 増減率 (%)                  | 11.3  | 69.0 | △14.3 | －              |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成27年3月期) | 3,718 | 434  | 316   | 9.07           |

3. 差異の理由

連結) 売上高につきましては、平成27年7月に買収したエヴォルヴ・ディスカバリー社 (EvD, Inc. (米国)) の業績が引き続き好調で概ね予想通りの結果となりました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、米国において子会社の組織再編と強化を推し進めていること、国内において人工知能技術の開発とマーケティング体制構築のために新規事業関連費用を計上したこと、また円高が急激に進行したことによる為替差損が発生したこと、さらに期末売上において利益率の低いレビュー売上の増加の一方、利益率の高いプロセス等の売上が期ずれしたことにより予想を下回る結果となりました。

個別) 売上高につきましては、主としてEvD, Inc. の買収による関係会社への売上が増加したことにより予想を上回る結果となりました。これに伴い経常利益につきましても増益となりました。

以上